



# 新年のご挨拶



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

公益社団法人岩手県トラック協会並びに会員の皆様におかれましては、日頃から労働条件の確保・改善、労働災害の防止、労働者の健康確保など、労働行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災から約6年10か月経過しましたが、復旧・復興関連の活動は継続しているところです。また、県内経済は緩やかな回復を続けていて、一部の産業では人手不足の影響が大きくなってきています。

その中で、道路貨物運送業界におかれましては、流通の要として県民生活と産業・経済を支え、重要な役割を担っていただいているところです。

このような状況の下、岩手県の道路貨物運送業における労働災害の発生状況を見ますと、第12次労働災害防止計画において、休業4日以上死傷者数を平成24年と比較して平成29年までに、15%以上減少させる目標を掲げていたところですが、残念ながら目標達成は厳しい状況となっています。

労働者の安全と健康の確保は、企業経営の根幹をなすものです。当局では、平成30年度から始まる第13次労働災害防止計画のもと、労働災害の減少と労働者の健康確保に全力で取り組んでいくところですので、会員の皆様方におかれましても、環境への配慮、人手不足への対応等で、苦慮されているところだと思いますが、事業主の方々が率先して安全決意宣言を行うなど、労働災害の防止により一層取り組んでくださいますようお願い申し上げます。

特に年末年始は、慌ただしさに加え、凍結、積雪等の自然要因も加わり、労働災害のリスクが高まる時季になります。岩手労働局では、岩手労働災害防止団体連絡協議会とともに主唱している「いわて年末年始無災害運動」を、12月1日から1月31日までの2か月間展開し、路面の凍結による交通事故や転倒災害等の冬季特有災害の防止についての働きかけを行っていますので、積極的な取組をお願いいたします。

また、「働き方改革」の推進について労使が一体となって取り組むことが求められているところですが、長時間労働の抑制、過重労働による健康障害防止などが重大な課題となっているところであります。当局では、岩手運輸支局等と連携し、引き続き「トラック輸送における取引環境・労働時間等改善岩手県協議会」を開催し、長時間労働抑制等の労働条件改善に取り組んでまいりますので、引き続き、御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々の御健勝と御発展を心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶に代えさせていただきます。

岩手労働局長 久古谷 敏行